

の方々をご紹介します (敬称略)



感謝状贈呈者

地球環境基金では、一定額以上のご寄付をいただいた方へ、感謝状を贈呈しています。

感謝状 ほし

ファミマクレジット株式会社

(本社：東京都豊島区)

ファミリーマートで使えてTポイントも貯まる「ファミマTカード」を発行するファミマクレジット(株)では、平成20年10月から、環境保全活動の一環として、利用明細書のペーパーレス化を推進しています。

Web 明細書を選択した会員には、利用代金の請求月にTポイン

トを10ポイント付与し、明細の発行1件につき2円を同社から地球環境基金へご寄付いただいています。平成22年は、1,156,079件分の利用明細書がペーパーレス化されました。

この取り組みは、今年も引き続き実施されています。

(贈呈日：平成21年3月9日)



ファミマTカード

感謝状 ほし

京都中央信用金庫

(本店：京都府京都市)



屋上緑化、太陽光パネル、全館LED照明を設置した府庁前支店屋上

平成22年6月に創立70周年を迎えた京都中央信用金庫は、環境問題に関する社会貢献の一環として、同年4月からエコ定期預金「地球がうれしい」を販売し、本定期預金の残高の0.015%に相当する金額を平成23年2月に地球環境基金へご寄付いただきました。

京都議定書採択の地を活動の中心とする信用金庫として、LED照明、ガスヒートポンプエアコンの設備や、太陽光発電、屋上緑化を採用した「環境配慮型店舗」の新設・建て替え、営業車に電気自動車を採用するなど、環境問題に対して継続的に取り組んでいる同金庫からは、今年度も引き続きエコ定期預金「地球がうれしいー2011ー」の販売を通じ、地球環境基金へのご協力をいただいています。

(贈呈日：平成23年3月18日)



平成23年6月より販売を開始し、7月下旬に予定の販売額に達したため、お取り扱いを終了しました。

感謝状 ほし

株式会社アクセル

(本社：東京都千代田区)

グラフィックスおよびサウンド関連の半導体メーカーである株式会社アクセルは、「健康」「環境」「人材育成」をキーワードとしてさまざまな社会貢献活動を行っています。

「健康」においては、がん専門機関や、心臓病・脳卒中の予防、制圧のための事業を行う団体を支援し、「人材育成」においては、筑波

大学で組み込み技術者の育成を目的とした教育プログラムを開講しています。また、「環境」においては、地球環境基金に平成16年度より継続してご寄付をいただくとともに、事業所内での募金箱設置や、株主総会での地球環境基金のパンフレットの配布等、幅広いご協力をいただいています。



筑波大学で講義をする(株)アクセルの社員

(贈呈日：平成23年3月31日)



地球環境基金の「サポーター」

感謝状
ほし

日本カートリッジリサイクル工業会



日本カートリッジリサイクル工業会 白崎会長
(左)と(独)環境再生保全機構 理事長の湊(右)

日本カートリッジリサイクル工業会は、トナーカートリッジのリサイクルを推進する企業会員で構成された団体で(正会員: 31社、賛助会員: 18社)、独自の環境ラベル(トナーカートリッジ・リユースラベル)を定め、会員に販売して会の活動資金等に充当しています。2007年より4



独自の環境ラベル

年連続で、その売上げの一部を地球環境基金にご寄付いただき、2011年度定時総会で当機構理事長の湊より白崎会長に感謝状を贈呈させていただきました。

(贈呈日:平成23年5月12日)

● 感謝状贈呈条件

感謝状	ほし	そら	みどり
個人	20万円以上、または累計50万円以上のご寄付	累計20万円以上のご寄付	累計5万円以上のご寄付
団体	50万円以上、または累計100万円以上のご寄付	累計50万円以上のご寄付	累計10万円以上のご寄付

※感謝状「そら」「みどり」につきましては、2009年10月以降、入金が確認された方から随時発行しております。

広報のご協力

地球環境基金を一人でも多くの皆様に知っていただくために、さまざまな方たちでご協力をいただいております。

「本 de 寄付」の広報にご協力いただいています

財団法人国民公園協会、社団法人国民宿舎協会

財団法人国民公園協会が維持管理、利用者サービスを行う皇居外苑、京都御苑、新宿御苑、また社団法人国民宿舎協会が運営する全国122か所の公営国民宿舎では、不要になった本やCDを地球環境基金に寄付できる「本 de 寄付」のチラシ設置や地球環境



【左】皇居外苑・楠公レストハウス内で「本 de 寄付」チラシ・広報誌を設置 【右】公営国民宿舎ホームページの「本 de 寄付」バナー



基金の広報誌の設置などでご協力いただいております。(「本 de 寄付」の詳細は裏表紙に掲載しております)

環境保全のメッセージを国際生物多様性の日に

中日新聞東京本社

中日新聞東京本社(東京都千代田区)は、昨年より国際生物多様性の日である5月22日に東京新聞への記事広告の掲載にご協力いただいております。昨年は生物多様性条約COP10に係わる地球環境基金の助成活動、今年はリオ+20やCOP10のフォローアッ



東京新聞朝刊 平成23年5月22日掲載

プに関わる地球環境基金の助成活動を紹介していただきました。